

大母様のメッセージ

～二世へ～

訓読教材

＊ 目次 ＊

■ 霊界について

- ① 現在の霊界
- ② 霊界の階層
- ③ 悪霊の再臨
- ④ 善霊の役事



～二世へ～

■ 霊界について

① 現在の霊界

清平は真のお父様によれば「復歸されたエデンの園」「天国に行けるようにする訓練場」「霊界への門」です。

清平はアダムとエバが墮落して以来、誤ったサタンの^{わざ}業をすべて整理する所です。すべての罪を脱ぎ捨てて整理し、善を中心に生きていけるようにする尊い所です。

最近、自然を破壊する公害が深刻です。でも皆さんの霊眼が開いたら、その公害よりももっと恐ろしい霊的な公害が広がっているということに気づくでしょう。

皆さんは地上で生きています。そして死ねば霊界に行って暮らすと思っています。ところが今、皆さんの先祖は霊界にいません。みな地上に降りてきています。なぜでしょうか。墮落人間が行く霊界はとても住みにくい 3

所だからです。真のお父様は「人類歴史は6千年よりも長い」とおっしゃいましたが、その長い歴史の中で生まれたすべての人の霊人体が霊界で生活することが出来ずに、みな地上に再臨しているのです。ですから皆さんが死んでから霊界に行こうとしても、彼らの間をすり抜けられるすき間がありません。

それで、真のお父様は清平を「霊界への門」として準備してくださいました。この世のどこにも霊界に行ける道はありません。「ここ清平だけが霊界に行ける道である」と真のお父様はおっしゃいました。

皆さんの体の中にどれほど多くの霊がいるか分かりますか？とてもたくさん霊がいます。あまりに多くて胸がつまる思いです。

皆さんは自分の体内に自分の霊人体だけがあると考えています。ところが



霊眼で皆さんの体を見ると、息もつけないほどの多くの霊が皆さんの体内にぎっしりといいます。

そのため自分の心をコントロールできずに悪霊にコントロールされている人がたくさんいます。悪霊に主管されると霊人体が悪の霊人体になります。そのまま霊界に行けば、とても暗い霊界に行くようになるのです。

先祖が犯した過ちに恨みを持っている霊が皆さんの体内にアリの卵のように、砂山のようにぎっしりといいます。悪霊が自分の恨みを晴らすために「殺してやる！ 狂わせてやる！」と言って皆さんの体内に入り込んでいるのです。それが現在の霊界です。

②霊界の階層

皆さんは霊界について知らなければなりません。霊界には審判官もないし、弁解や理由を聞いてくれる人もいません。地上で肉親をもって生きてきたそのままの姿で霊界に行きます。ですから皆さんは、地上での生活を大切にし、善の生活をしなければいけません。

地上の生活は霊界の生活と比べると、あまりにも短い瞬間です。皆さんはお父さんとお母さんの愛を通して肉身をもって生まれ、人生を歩んでいきます。では肉身の命が尽きたとき、皆さんはどこに行くのでしょうか。「霊界」という所に行くことになります。「天国か地獄のどちらかに行くだろう」と誰もが考えていますが、霊界について皆さんに教えてあげましょう。

霊界には数多くの階層があります。天国と地獄という二つに分かれているのではなく、さまざまな階層があります。祝福家庭が行く霊界もあるのです。その多くの階層の中で、ほとんどの人が行く霊界はたいへんつらくて暗い所です。ところが祝福家庭の行く霊界は、とても美しく良い所です。皆さんはそれを知らなければなりません。

人は生まれるとき、母親の胎内で肉身が形づくられ、その肉身をもって地上での生活が始まります。それと同じように、地上の生活を通して霊人体が形づくられ、その霊人体をもって霊界で永遠に暮らすようになるのです。

霊界はだれかに場所を示されて行くのではなく、自分の姿に合った所を自分から訪ねて行きます。ですから地上で肉身をもって生活しているとき、どのように生活するかがとても重要です。生活をしているすべての内容がそのまま霊人体にビデオのように生々しく記録されるからです。

地上で暮らした姿を都合よく編集できるのではなく、良いことも悪いこともそっくりそのまま記録され、それが永遠に付きまとうのです。ですから地上での生活は重要なのです。

地上の生活は一度しかなく、霊界の生活と比べるとあまりにも短い瞬間です。ですから皆さんは、霊界で生活する前に準備し、個性を完成しなければなりません。それが、肉身を持っているときの皆さんの責任分担です。



皆さんは生きていく上で、いつも神様と真のご父母様のことを考えながら生活し、一体になろうと努力しなければなりません。すべての罪を脱ぎ捨てて、神様と真のご父母様と一体になれば、大きな価値を持つようになります。それは、創造本然のアダムとエバの立場です。

その立場に至るためにはサタンとの因縁を否定し、すべてを断ち切らなければなりません。それでこそ神様と真のご父母様と一体になり、神の宮となって、永遠の生命を得ることができるのです。

③悪霊の再臨

本来、皆さんの体の中には皆さんの霊人体しかありません。ところが今、皆さんの体には数多くの霊がぎっしりといます。想像もつかない数の霊が今、地上に再臨し、地上で生きている人たちと相対基準を結んで体の中に入り込み、悪霊の業をおこなっています。

その悪霊たちは、人々の皮膚や骨の中にまで浸透して根をおろし、好き勝手に悪霊の業をおこないます。自分の恨みが1人で晴らせないとき

には自分と似た悪霊たちを呼び集め、恨み話をしながら、自分と一体となるように工夫します。そうして地上の人間を通して恨みを晴らそうとします。悪霊たちは、自分と似た墮落性を持った地上の人間に侵入し、さらに強い悪霊の業を行うのです。

皆さんが暮らしている空間には、目に見えない空気があるだけではなく、数多くの悪霊たちがほこりのように存在しています。その悪霊たちは、皆さんが原理的な生活をする限り、ほこりのようにについているだけですが、非原理的な生活をしたときには、それを条件として、皆さんを完ぺきにコントロールしようとしています。

そうすると皆さんは、自分の主管性によって生きられなくなり、悪霊の思い通りにコントロールされながら生きるようになります。

ゆくゆくはどうなるでしょう。その悪霊のような悪の霊人体になってしまい、死んだら暗い霊界に行くようになるのです。皆さんはそのことを絶対に忘



れてはなりません。

④善霊の役事

清平の役事が始まることによって、皆さんは自分の姿をきれいに整理できるようになりました。それは神様と真のご父母様、興進様と大母様の役事の恩恵です。

かつて悪霊たちは、アリの卵のように砂山のように、皆さんの血や骨の中に深く入り込んで居座り、何とかして自分の恨みを晴らそうと必死になっていましたが、今は立場が変わりました。

恨みをもった霊たちは、清平で皆さんの体内から分立され、霊界の興進様のいらっしゃる修練所に送られます。そこで100日間の修練を受け、霊人祝福も受けます。祝福家庭についての教育も受け、たいへん透き通った清く美しい善霊の姿に変わっていくのです。

「善霊の尊さを知りなさい」と真のお父様はおっしゃいました。善霊たちはかつて皆さんの体内にしながら、恨みの業をこおなっていた張本人で

した。ところが今は、過去のすべてを後悔し、今のような清い姿になれたことにとても感謝しています。そして今、どうやって地上の皆さんを助けようかと必死に努力しています。それが祝福を受けた善霊たちの姿です。

今後は、助けてくれる善霊がたくさんいる人とそうでない人との間に生活面で多くの差が現れてくるでしょう。

真のご父母様がこの地上に来られ、すべての勝利の基盤をきずくことによって、霊界と地上界が一つになる時代になりました。今や人間の力によって生きるのではなく、天運と善霊の力によって生きる時代になったということを皆さんは知らなければなりません。

善霊たちはみなさんとともにいて、絶対的に皆さんを協助しようと努力しています。それで皆さんが清平に来ると、大きな恵みと祝福を受ける



ことができるのです。

12



～終わり～

引用文献：
『二世の生活

第3章 大母様のメッセージ 』